

2023年度 小委員会活動成果報告

(2024年2月14日作成)

小委員会名	脱炭素・健康社会に向けた建築外皮検討小委員会	主査名：高瀬幸造 就任年月：2023年4月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (建築設備運営委員会)	委員長名：大岡龍三 主査名：田中英紀
設置期間	2023年4月 ～ 2025年3月	
設置目的 各年度活動計画 (箇条書き)	近年、光・湿気（健康面）、換気・空気質（安全（感染症）・衛生（PM2.5））、BCP・レジリエンスといった様々な視点から良好な室内環境の実現が重要視されている。また、脱炭素化の動きの中で、建物運用時の省エネ化だけでなく、イニシャルCO ₂ 排出削減や維持管理、廃棄まで含めたLCCO ₂ 評価に向けた動きが加速している。そこで本小委員会では、現代で必要とされる脱炭素および健康といったキーワードを掘り所に、今後の建築外皮の在り方について情報収集および整理を行うことを目的とする。 <u>初年度</u> ：運用時の省エネルギー化、居住環境の快適性・健康性向上に寄与する建材のLCCO ₂ 評価の最新動向について調査を行う。また、建築外皮の省エネルギー性能や室内環境快適性・健康性向上に関して、各国の規格や基準、WELL,LEED,CASBEE等の評価制度、LCCO ₂ 削減に有効な手法等の調査・相対比較を行う。 <u>2年度</u> ：初年度の検討内容に基づき、建築主や設計者・施工者に有益となる情報提供を行うための知見をまとめるとともに、シンポジウム等で成果の公表および委員会外の方との意見交換を行う。	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：無 主査：高瀬幸造（東京理科大） 幹事：中村駿介（三菱地所設計）、館景士郎（日建設計） 委員：山口温（関東学院大）、高田暁（神戸大）、望月悦子（千葉工大）、長谷川巖（日建設計）、佐々木邦治（社会科学研究機構）、佐々木真人（日本設計）、石井義章（日本設計）、木下泰斗（日本板硝子）、川島範久（明治大）、郡公子（宇都宮大名誉教授）、佐伯美奈子（アール・アイ・エー）、高井啓明（竹中工務店）	
設置WG (WG名：目的)		
2023年度予算	120,000円	ホームページ公開の有無：無 委員会HPアドレス：

項目	自己評価
委員会開催数	5回（年度内計画を含む）
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 外皮の熱性能予測手法やトップランナー制度の最新動向の調査を行った。 2. 外皮熱性能のLCCO ₂ への影響に関する国内外の検討事例調査を行った。
委員会活動の問題点・課題	なし

* 中間年度には中間評価を、最終年度には最終評価としての自己評価を記入すること。

環境工学委員会用 自己評価欄

2023年度 小委員会活動 自己評価 (中間年度評価・最終年度評価)

総合評価 (4段階評価)	A B C D
総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)	<p>前身の「新時代における建築外皮検討小委員会」から発展させ、本小委員会では「脱炭素・健康社会」を切り口に建築物の外皮性能について議論を進めている。初年度より、国内外の最新事例調査等を行い、以下の通り委員間で活発な意見交換を実施できており、A評価とした。</p> <p>・運用時の省エネルギー化、居住環境の快適性・健康性向上に寄与する建材のLCCO₂評価の最新動向について調査を行った。 (日本建築学会や空気調和・衛生工学会の関連委員会や既往のLCA評価法、最新技術等)</p> <p>・建築外皮の省エネルギー性能や室内環境快適性・健康性向上に関して、各国の規格や基準、WELL,LEED、CASBEE等の評価制度の調査を行った。</p> <p>・次年度にシンポジウムによる研究成果の公開を行っていく予定であり、今年度からシンポジウムのトピックについても議論を行うことができた。</p> <p>本小委員会が終了する直後の2025年4月から、すべての新築住宅および建築物において省エネ基準への適合が義務付けられるといった大きな制度変更があるため、今後を見据えた建築外皮性能についての有用な知見を発信することを目指して活動を継続していく。</p>

● 総合評価は4段階 (A>B>C>D) にて、自己評価すること。

● 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。

A評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度

B評価：小委員会設置目標に対し、70%から80%の達成度

C評価：小委員会設置目標に対し、60%から70%の達成度

D評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度

● 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価（シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など）に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。

● 提出対象年：設置期間4年の場合は、2年目「中間年度評価」、4年目「最終年度評価」（1年目・3年目不要）

設置期間3年の場合は、2年目「中間年度評価」、3年目「最終年度評価」（1年目不要）

設置期間2年の場合は、1年目「中間年度評価」、2年目「最終年度評価」

設置期間1年の場合は、1年目「最終年度評価」